

| | |
|------------------|---|
| Title | 昭和六一年度三田史学会大会；講演会；昭和六一年度史学科見学旅行 |
| Sub Title | |
| Author | |
| Publisher | 三田史学会 |
| Publication year | 1987 |
| Jtitle | 史学 (The historical science). Vol.56, No.4 (1987. 2) ,p.137(551)- 139(553) |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | 彙報 |
| Genre | Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19870200-0138 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

彙報

朝

慶應義塾大学（大学院修士課程）長谷部史彦 氏

2 オスマン帝国の地方体制
—スレイマン大帝期のアナトリア東部—

昭和六一年度三田史学会大会

昭和六一年度の本学会大会は一〇月二五日(土)慶應義塾大学三田校舎において開催された。内容は左記の通りである。

研究発表

国史部会

1 イエズス会の年報制度と日本

—インド管区と日本—

慶應義塾大学助教授 柳田 利夫 氏

2 律令位階制における外位
—帳内・資人を中心として—

慶應義塾大学（大学院修士課程）上野 純也 氏

3 国分寺創建及建立詔勅の問題点について

慶應義塾大学（大学院修士課程）広瀬 震也 氏

4 僧尼とその身分について

慶應義塾大学（大学院修士課程）村松 琢氏

5 鎌倉幕府の安堵政策について

慶應義塾大学（大学院修士課程）宮崎 宏氏

東洋史部会

1 一四世紀後半—一五世紀前半のカイロ社会とマムルーク

6 ドイツ第二帝政期の反セム主義に対する防衛

—Verein zur Abwehr des Antisemitismus

を中心と—

広島大学（大学院博士課程後期）長田 浩彰氏

民族学考古学部会

1 上黒岩石陰の再検討

—特に水洗選別より得られる遺物を中心と—

慶應義塾大学（大学院修士課程）古田 幹氏

2 お仲林遺跡の研究

—先土器時代の石器製作活動の復元にむけて—

慶應義塾大学（大学院修士課程）五十嵐 彰氏

3 年中行事の伝統と変化

—奄美大島字検村の事例を中心として—

慶應義塾大学（大学院修士課程）法橋 量氏

4 ポリネシア・ックク諸島と北部オーストラリアの調査

慶應義塾大学教授 近森 正氏

総合部会

歴史学とコンピューター

1 慶應義塾大学助教授 上田 修一氏

2 慶應義塾大学（大学院博士課程）倉田 敏子氏

公開講演

福澤塾から慶應義塾へ 慶應義塾大学教授 河北 展生氏

総会

懇親会

講演会

昭和六一年度に開催された史学科関係の講演会は左記の通りである。会場はすべて三田校舎である。

一、四月三〇日(水)

一、演題 中世イングランドにおける統治と民衆

一、講師 ケンブリッジ大学教授 J.C.ホルト氏

(通訳 慶應義塾大学大学院博士課程 吉武憲司氏)

一、三田史学会・西洋史研究室共催 (小泉基金による)

一、一二月二日(火)

一、演題 縄文漁具について

—南太平洋の事例との関連で—

一、講師 ニュージーランド オタゴ大学人類学教室専任講師
アトール・アンダーソン氏

一、民族学考古学研究室主催 (小泉基金による)

一、一二月九日(火)

一、演題 トルコの音楽

一、講師 ハジュテペ大学教授 ヒクメト・シムシエク氏

(通訳 慶應義塾大学言語文化研究所講師 ヤマンラール

水野美奈子氏)

一、東洋史研究室主催

発掘中)・山田寺跡・川原寺跡・興福寺跡(東院発掘中)・安倍
寺跡・石舞台古墳・コロコロ山古墳・谷首古墳・文殊院東・西
古墳・艸墓古墳。

一、一二月一一日(木)

一、演題 中国の地方誌と民俗学

一、講師 北京師範大学教授 張紫晨氏

一、東洋史研究室主催 (小泉基金による)

昭和六一年度史学科見学旅行

本年度の史学科見学旅行は一〇月一三日(月)から一六日(木)まで三泊四日で行われた。国史学専攻の河北展生教授・村山光一教授・志水正司教授・高橋正彦教授・坂井達朗助教授・柳田利夫助教授、西洋史学専攻の森岡敬一郎教授・米田治教授、民族学考古学専攻の小川英雄教授の九名が引率し、学生約八〇名が参加した。三日とも天理市の天理教本部施設に宿泊し、見学先是次の通りである。

天理教教会本部・天理参考館・飛鳥寺・法隆寺・法輪寺・法起寺・中宮寺・薬師寺・東大寺・唐招提寺・新薬師寺・白毫寺・当麻寺・室生寺・竜穴神社・聖林寺・安倍文殊院・奈良博物館・橿原考古学博物館・飛鳥資料館・東大寺図書館・天理図書館・興福寺宝物館・今井町街並・飛鳥宮跡・平城宮跡(東大溝